

町民の皆様へ

令和4年9月8日
玉東町役場

指さし会話帳の使い方と翻訳アプリの紹介について

8月上旬より、順次ウクライナ避難民が到着しています。到着後すぐは日本語が話せませんが、数カ月かけて日本語学習を行う予定です。避難民の方々が地域社会に溶け込み、地域の皆様と交流していただけるよう、オレンジネットワークプロジェクトとしてもオリエンテーションや生活サポートを通して支援をしておりますが、これには地域の皆様のご協力が不可欠です。

初めのコミュニケーションの方法として指さし会話帳を作成いたしました。ウクライナの方々と会話する際のきっかけになれば幸いです。どうぞ温かい心で避難民の方々と接していただけるようご協力をお願い申し上げます。

【指さし会話帳の使い方】

1 指さしながら発音する

話したい単語を話し相手に見せながら発音します。相手は文字と発音を確認できるので確実に通じます。わかりやすいようにゆっくり指さしましょう。

2 発音は大きな声で

発音せずに指さすだけでも通じるのは確かですが「話したい」という姿勢を見せるためにも発音することは重要です。だんだん正しい発音に近づきます。

3 相手に指さしてもらう

話し相手にはウクライナ語を指さしながら話してもらいます。あなたは日本語を読んで、その言葉の意味がわかります。

4 自然と言葉を覚えられる

指さしながら、発音し、相手の発音を聞く。これをくり返すうちに、だんだん言葉を覚えていきます。

【翻訳アプリの紹介】

ウクライナ避難民ともう少し詳しい内容を話したい時など、翻訳アプリをご利用ください。翻訳アプリは、Google翻訳と検索し、ウクライナ語に設定ください。

アプリは、以下QRコードから読み取り、無料でダウンロードすることができます。



iphone用



android用

”テキストを入力”の横にあるマイクのマークを押すと、話した言葉をウクライナ語に変換できます。ウクライナ語を読み上げたい時は、日本語の下にある、水色のスピーカーの場所をタッチすることで、ウクライナ語の音声流れます。

主語、述語のはっきりした簡潔な文章で話したほうが、きちんと翻訳されやすいようです。